

資料 6

「3-3 地域資源を活かした観光の振興」に関する委員意見・市の取組状況等

委員からの意見	現在の市の取組状況・考え方	改善すべき点、新たなご提案等
人口が減少していく中では、交流人口、関係人口など外から人を取ってくる必要がある。	・現状・課題に記載しました。	（審議会にてご意見をお願いします。）
現代の観光は「モノ」消費から「コト」消費主体へと変わってきている。共感できる広告・宣伝、検索すれば情報がすぐ出てくる工夫、SNS等共有できる仕組みを作ることが必要である。	・現状・課題及び取組方針①②に記載しました。	
外国人観光客を掘り起こす方が容易で効果的に思う。SNSやインフルエンサーの口コミなど、従来とは異なるアプローチが必要である。	・取組方針①の主な取組である「観光情報の発信」に具体的に取り組む中で検討します。	
施策体系の中に「観光資源の保全と受入体制の整備」を盛り込んではどうか	・取組方針②において対応する記述をさせていただきました。	
施策体系の中に「新たな観光資源の発見・活用」を盛り込んではどうか。	・取組方針②に記載しました。	
観光標識・案内板のデザインの統一や多言語化が必要である。	・取組方針②の主な取組に記載しました。	
公共交通の利便性向上と駅前の観光拠点化・国際化は急務である。	・取組方針②の主な取組に記載しました。 ・公共交通については「4-6 公共交通の利便性の向上」においても議論します。	
近江八景に倣い“野洲八景”を策定する。市内の名勝地を選定し、写真コンテスト、絵画コンクールなどを開催し、優秀作品を表彰する。	・取組方針②に具体的に取り組む中で検討します。	
西国33カ所巡りなどに倣い、野洲の名所を33カ所選定してスタンプラリーで楽しんでもらうのはどうか。	・取組方針②に具体的に取り組む中で検討します。	

委員からの意見	現在の市の取組状況・考え方	改善すべき点、新たなご提案等
三上山はマツタケ山として有名であり、マツタケ生産に向けた研究機関やボランティアによる山整備、登山道整備をしてはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・取組方針②に具体的に取り組む中で検討します。 	<p>(審議会にてご意見をお願いします。)</p>
観光物産協会はきちんと機能しているのか。常に最新の観光資源情報を把握・管理して市外消費者にアピールできているのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・取組方針②の主な取組に「観光関係団体への支援」を記載しました。 	
野洲駅や道の駅などの拠点から、各地へのアクセス環境を整備するとともに、駐車場や魅力を発信するアプリなど、受け入れ態勢の整備が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・取組方針②に環境整備を記載しました。 ・取組方針①に観光情報の発信の充実を記載しました。 	
「観光に関わる市民団体との連携」を「観光に関わる市民・団体・企業との連携」にしてはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・取組方針③に記載しました。 	
行政主導ではなく、地元住民主体で観光地化するプロジェクトが立ち上がれば、地元の生活と観光地の共存は解決できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・取組方針③に市民・団体・事業者等との連携を記載しました。 	
野洲市の土産づくりと同時に販売方法を考える必要がある。商工業者、農林漁業者、各団体の理解・協力により、特産物、伝統商品、伝統料理を生産し観光時の土産物につなげ、市のPRにつなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・取組方針③の主な取組に記載しました。 	
モデルコースの認知度が低いのではないかと。ターゲットがわからず、魅力が伝わらない。コース途上の土産物などの付加価値の必要性や、観光推奨ルートの必要性そのものについても検討すべき。	<ul style="list-style-type: none"> ・現状・課題にターゲットを明確にした魅力のアピールについて記載しました。 ・取組方針③の主な取組に「観光ルートの充実」を記載しました。 	
野洲市の大きな観光資産としては近江富士と琵琶湖が挙げられるが、いずれも十分に活用できていない。距離的には2つは離れているが、それを結び付けるような発想が欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・取組方針③の主な取組に「観光ルートの充実」を記載しました。 	
イベント・まつり等は、参加者が何を体験して、何を得るのかを明確にするべき。大きなイベントだけでなく、観光資源を振り分け、シーズン毎、毎月のような小規模なイベントがあると良い。	<ul style="list-style-type: none"> ・取組方針③の主な取組に「定期的なイベントの開催」を記載しました。 	

委員からの意見	現在の市の取組状況・考え方	改善すべき点、新たなご提案等
<p>県の観光統計は推計方法の問題から参考にならないと思われるため、他の情報から実態をよりの確に反映する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客数を把握している統計データが他になく指標として設定しています。 ・他にご提案があればお願いします。 	<p>(審議会にてご意見をお願いします。)</p>
<p>各事業の費用対効果はどのような状況か。各イベントの経済効果等、定量的な数字を測ることが必要。また、訪れる観光客(消費者)の自発的な消費が必要であり、まずは観光資源そのものの価値を高めることが重要ではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光の付加価値を高める必要性について、現状・課題に記載しました。 	
<p>観光の振興に大きな変化はないので施策体系を変える必要はないと考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな体系自体は新計画案においても現計画を踏襲しています。 	
<p>現状はコロナ騒ぎで観光は非常に厳しい状況だが、施策をリセットして新たな枠組みにチャレンジするための期間としてポジティブに捉えるといいと思われる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございます。 	
<p>現在では多くの自治体が似たような内容に取り組んでおり、施策の物量で他自治体を上回らない限り多くの注目を集めるのは難しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見として承り、取組を具体的に進める中で工夫したいと思います。 	